

令和8年度 事業計画

学校法人 大阪成蹊学園

I. 大阪成蹊学園 概要

大阪成蹊学園は昭和 8 (1933) 年に創立された、93 年の歴史を持つ総合学園です。現在、傘下に大阪成蹊大学、大阪成蹊大学大学院、びわこ成蹊スポーツ大学、びわこ成蹊スポーツ大学大学院、大阪成蹊短期大学、大阪成蹊女子高等学校、大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園を擁し、在籍者数約 8,000 人、教職員数約 1,100 人、卒業生総数約 14 万人の規模を誇る伝統と実績のある総合学園です。

(1) 建学の精神

大阪成蹊学園の建学の精神「桃李不言下自成蹊」は、司馬遷の『史記』に由来する故事成語で、「桃や李^{すもも}は何も言わないが、その美しい花や実^{こみち}にひかれて人が集まってくるので木の下には自然と小道（蹊）ができる」という意味から、徳が高く尊敬される人のもとには多くの人が集まってくるという譬えです。このように徳があり人に慕われ信頼される「人間力」を備えた人を育てることを教育の基本目標としています。

(2) 行動指針『忠恕』の精神

「忠」は誠実、「恕」は思いやりを表わし、誠を尽くし人の立場になって考え行動するという意味です。建学の精神を実践するにあたっての行動指針としています。

(3) 教育目的

建学の精神「桃李不言下自成蹊」、行動指針「忠恕」に基づく、真に「人間力」ある人材を育成します。

II. 令和 8 年度の事業方針

本学園では、「大阪成蹊学園 中期経営計画」の実現に向け、次の事業方針のもと、令和 8 (2026) 年度の事業計画を推進します。

1. 各設置校における教育・研究の質の向上
2. 大阪成蹊ブランドの構築と学生・生徒募集の強化
3. 組織体制の強化とガバナンスの確立を通じたコンプライアンスの徹底
4. 教育・研究を支える財政基盤の強化 [教学政策こそ、財政政策]

Ⅲ. 法人及び各設置校の事業計画

1. 法人

令和 9 年度に開設を予定する大阪成蹊大学経済学部設置並びに、駅前キャンパス第二期棟の開設関連事業に取り組むとともに、中期経営計画の実現に向けた組織及び施設設備等の在り方を検討します。

(1) 教育研究高度化のための学部・学科等の再編

- ① 令和 9 年度開設をめざす大阪成蹊大学経済学部(入学定員 200 名)の開設
- ② 令和 9 年度に大阪成蹊大学芸術学部の収容定員の 20 名増員
- ③ 令和 10 年度以降の各設置校における学部・学科及び収容定員の在り方の計画

(2) 施設・設備の整備拡充

- ① 大阪成蹊大学駅前キャンパスにおける第二期棟の建設・整備計画の実現
- ② 大阪成蹊大学駅前キャンパスの一層の充実に向けた整備計画の策定
- ③ 学生・生徒等の学修環境・学生生活の質向上のための施設・設備の整備

(3) ガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底

- ① 組織改編に伴う業務の効率化とガバナンス体制の明確化
- ② 組織風土の改革と FD・SD 活動の高度化による人材育成の強化
- ③ リスク管理の体制の強化と全教職員への周知徹底

(4) 財務基盤の強化

- ① 経常経費の見直し及び人事最適化による収益性の向上
- ② 教職員の業務の効率化に資する ICT・AI 等の活用及び情報環境整備の推進

2. 大阪成蹊大学

大阪成蹊大学では、学生たちの在学中の学びを支え、卒業後も学び続け、自らの確かなキャリアを形成するために必要な基盤的能力を育む「大阪成蹊 LCD 教育プログラム」を、平成 30(2018)年度より全学で展開しています。当プログラムでは社会に通用する高い専門性に加え、全ての学修において「リテラシー (Literacy)」「コンピテンシー (Competency)」「ディグニィ (Dignity)」の 3 要素を統合的に育むための「人間力」教育を実践します。

(1) 教学改革の深化

- ① プロジェクトの発展的統合
既存の 9 プロジェクトを 3 プロジェクトに発展的統合

② プロジェクトの新設

「教学クオリティの高度化プロジェクト」

全学的な教学改革・質保証の取組みを推進し各プロジェクトを効果的にマネジメント

「学修環境の整備計画検討と充実プロジェクト」

すべての学生により快適かつ最適な学修・学生生活環境を提供

「研究推進体制の充実プロジェクト」

研究力の向上と多様な研究を推進するための支援体制・環境の整備充実

(2) 教育・研究の質の向上に向けた体制の強化

① 教育内容の充実

初年次教育・キャリア教育を核とした「大阪成蹊 LCD 教育プログラム」の深化

専門分野をグローバルな視点で学ぶグローバルフィールドスタディプログラムの充実

② 教学 IR の推進

教学 IR の充実による学習成果の可視化の推進

③ 全学的な FD プログラムの展開

体系的な FD による教学改革の推進と教員の教育・研究力の向上

④ 教育拠点の整備強化

ICT を活用した学修環境の充実・整備による教育拠点の強化

⑤ 研究支援体制の強化

多様な研究活動推進及び外部資金獲得のための組織的な支援強化

(3) 学生の学修支援体制の強化

① 教職協働による学生の支援体制

アドバイザー教員・各所管部門の職員連携による個別支援体制の充実

組織改編に伴う支援部門の体制強化

② 海外留学を中心とした国際交流支援

グローバルセンター・学部が連携した組織的な語学力の強化と留学支援体制の充実

③ 就職・資格取得を中心としたキャリア支援

学びの特色に合わせた就職指導の強化

専門性を磨く資格・免許等取得のための学内対策講座の強化と奨学金制度の充実

(4) 社会連携の推進

① 企業・自治体等との PBL 等を通じたソーシャルタッチポイントの機会充実

専門性に応じた多様な企業・自治体等との連携内容の充実

リエゾンセンターによる組織的な支援体制の強化

② 高校生向けコンテストの充実

芸術、英語、データサイエンスなどの学びの特色を活かした高校生向けコンテストの充実

(5) ブランディングと学生募集の強化

① 総合大学としてのブランド力強化

7学部の特色の明確化と多様な媒体を用いた積極的な広報発信
学生募集イベントの革新的な進化による「SEIKEI EXPO」の展開

② ポジショニングアップに向けた入試戦略の構築

上位私立大学・国公立大学との併願構造の確立

3. びわこ成蹊スポーツ大学

びわこ成蹊スポーツ大学では、「びわこ VISION2026」において「スポーツに本気の大学」「新たな日本のスポーツ文化を創造する大学」を掲げ、10の改革項目に対して改革を推進しています。また、教育の質保証推進機関として教学改革推進会議を開催し、教学上のテーマを実現するための教学改革プロジェクトを設け、教職協働により全学的・組織的な教学改革を推進しています。

(1) 全学的な教学改革の推進

① 学修基盤・教育内容の高度化

未来社会に対応した学びの設計を目的に、5つのプロジェクトを新設

② 学修の深化とキャリア形成

学生主体の学びと社会的自立を目的に、2つのプロジェクトを展開

③ 学修成果の可視化と教学マネジメント

質保証の改善のための基盤整理を目的に、2つのプロジェクトを展開

(2) スポーツ文化を創造するための幅広い学びの展開

① スポーツ×ビジネス

起業家精神を育む教育プログラムの展開。ビジネスプランコンテスト内容の実現

② スポーツ×国際交流

グローバルフィールドスタディプログラムの充実と留学、交換留学の促進

③ スポーツ×データサイエンス

スポーツデータサイエンス教育における生成 AI の活用

(3) 社会が求める研究活動の推進と社会への還元

① 研究推進のための PT 設置と研究支援の強化

② 体系的な FD による教員の教育・研究力の向上

(4) スポーツをとおした地域貢献の推進

① 中高の部活動指導に係る連携強化

県内中高部活動へ学生コーチ派遣、教員・学生向け部活動指導プログラムの展開

② 小中高校生及びシニアを対象としたプログラムの実施

(5) ブランディングと学生募集の強化

- ① 学内横断的・全学的な取り組み
募集広報における重点目標として、5つのプロジェクトを展開
- ② 大学ビジョンの浸透
「スポーツに本気の大学」「新たな日本のスポーツ文化を創造する大学」の浸透
- ③ 年間を通じた高大連携、プログラムの提供
「する・みる・ささえる」スポーツの授業展開、プログラム内容の刷新
- ④ 大学院における人材育成
高度な専門性を有する人材育成と安定的な定員の充足

4. 大阪成蹊短期大学

大阪成蹊短期大学では、学生たちの在学中の学びを支え、卒業後も学び続け、自らの確かなキャリアを形成するために必要な基盤的能力を育み、社会に有為な人材育成をめざしています。

(1) 教学改革の深化

- ① プロジェクトの発展的統合
既存の9プロジェクトを3プロジェクトに発展的統合
- ② プロジェクトの新設
「教学クオリティの高度化プロジェクト」
全学的な教学改革・質保証の取組みを推進し各プロジェクトを効果的にマネジメント
「学修環境の整備計画検討と充実プロジェクト」
すべての学生により快適かつ最適な学修・学生生活環境を提供

(2) 教育・研究の質の向上に向けた体制の強化

- ① 教育内容の充実
専門分野をグローバルな視点で学ぶグローバルフィールドスタディプログラムの充実
- ② 教学 IR の推進
教学 IR の充実による学習成果の可視化の推進
- ③ 全学的な FD プログラムの展開
体系的な FD による教学改革の推進と教員の教育・研究力の向上
- ④ 教育活動を支える教材研究の強化
教員の教材研究力の強化に向けた組織的支援

(3) 学生の学修支援体制の強化

- ① 教職協働による学生の支援体制
教職協働による他大学に類のない面倒見の良さ

組織改編に伴う支援部門の体制強化と対応力の強化

- ② 就職・資格取得を中心としたキャリア支援
学びの特色に合わせた就職指導・支援の強化
専門性を磨く資格・免許等取得のための学内対策講座の強化と奨学金制度の充実

(4) 社会連携の推進

- ① 企業・自治体等との PBL 等を通じたソーシャルタッチポイントの機会充実
専門性に応じた多様な企業・自治体等との連携内容の充実
リエゾンセンターによる組織的な支援体制の強化

(5) ブランディングと学生募集の強化

- ① 日本でも有数の規模を誇る大阪成蹊短期大学としてのブランド力強化
学生募集イベントの革新的な進化による「SEIKEI EXPO」の展開
- ② 入学者の安定的な確保に向けた入試戦略の構築
専攻科における 3 年間教育の強み
教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）による社会人入学生の強化

5. 大阪成蹊女子高等学校

大阪成蹊女子高等学校は 2 学科 8 コースの学びを展開し、女子に特化したキャリア教育及び建学の精神を踏まえた「人間力」ある人材の育成を目指す教育を強固に推進しながら、個々の生徒に応じたきめ細かな教育支援により生徒の成長を育みます。

(1) 学校教育力の向上

- ① 教育内容の充実
2 学科 8 コースの特色と社会や生徒のニーズに応える教育の実践
各コースの教育内容に応じた高大連携の充実
- ② グローバル教育の推進
ユネスコスクールの活動推進及びグローバルなキャリア教育を実践
海外修学旅行による国際交流や英語力向上
NET を活用した少人数制の英語授業
- ③ 教員の指導力強化
教授手法等の学内共有と授業アンケートを活用した継続的な授業改善

(2) 生徒募集の推進

- ① SNS 等による幅広い学びの特色の発信強化
- ② オープンスクールでの来場者満足度の追求
- ③ 全教職員による生徒募集に向けたチーム力の強化

(3) 学園内連携の促進

- ① 各コースのカリキュラムと連動させた1年次からの学園内連携授業を充実
- ② 内部進学促進のための進路指導体制の強化

(4) 生徒指導の強化

- ① 多様化する生徒の課題に対応する全教員の生徒指導体制を強化
- ② 生徒のカウンセリング強化を図るためカウンセラー及び養護教員の複数配置を維持
- ③ 課外活動の活性化に向けた支援体制

6. 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

こみち幼稚園は、楽しい「遊び」を通して、幼児の心情・意欲・態度を育みながら、「強く明るく考える子ども」を育成することを教育活動の目標とします。

(1) 教育内容の質の向上

- ① 心の教育・人権教育の充実
豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、道徳性などを育む教育実践
- ② 食育の推進
幼児の実情と配慮点の検討にもとづく給食指導
- ③ 自然環境と体験学習の充実
幼児の身近な動植物に対する関心を積極的に促す保育の実践
- ④ 音楽・運動・造形表現遊びの充実
運動遊びを展開し、自然・音楽・絵画等との出会いを促進
- ⑤ 教員の資質向上
大学、短期大学教員との合同研修会の充実
特別支援教育に関する外部研修の活用

(2) 学園内外連携の促進

- ① 大学祭等の学園内で開催するイベントへの参画
- ② 大学・短期大学と連携した科学遊びや絵画・造形活動、スポーツ活動の充実
- ③ 地域社会との連携による教育メソッドの普及促進

以 上